

JHL NEWS

No.19

2013年2月18日

●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長 多田 博
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大同がプレーオフへ大きく前進

～第37回日本ハンドボールリーグ・第18週～

第37回日本ハンドボールリーグ・第18週は2月16、17日に男子4試合、女子3試合が行われ、男子では4枚目のプレーオフ切符を争う琉球コラソンと大同特殊鋼が勝利を握った。琉球はレギュラーシーズンの全日程を終了、大同は次週の北陸電力戦に勝てば同勝点の琉球を上回ってプレーオフ進出が決まる。女子は上位3チームが順当に白星を積み上げた。

奈良での男子・大崎電気トヨタ自動車東日本は、前半8分まで4-4と互角の展開だったが、ここから大崎が東長濱の巧みなステップシュートで徐々に差を広げると、24分過ぎには豊田、時村の速攻などで加速し、23-14と水をあけて前半を折り返した。大崎は後半から登場した宮崎が鮮やかなアシストプレーで観客を沸かせる一方、馬場、森らが元気よく走り回り、濱口、上野が頑張る東日本を39-28と押し切った。

沖縄での琉球-湧永製薬は、前半6分過ぎから激しいディフェンスを開いた琉球が水野裕紀、東長濱の速攻などで突き放しにかかり、14-9と5点リードで前半終了。後半も琉球が先行を続け、13分22-14と快調なペースで試合を進めた。この後、湧永も新、中浦らでじわじわと点差を縮め、21分には3点差まで追い上げるが、琉球GK・石田が好セーブを連発、27-24で逃げ切った琉球が地元最終戦を白星で飾った。

佐賀でのトヨタ紡織九州-大同は、岸川、武田らの活躍で開始5分5-1と先行した大同が、その後も足を使った攻守で主導権を握り、17-9と8点差をつけて前半を終えた。後半に入ってディフェンスが機能し始めた紡織が石黒、中畠らの活躍で反撃に転じるが、岸川や新加入の高景洙らで着実に追加点を奪った大同の優位は動かず、前半のリードを守り切った大同がプレーオフに大きく近づく貴重な勝利をものにした。

鹿児島での女子・ソニーセミコンダクターオムロンは、前半10分過ぎから東長濱のロングシュートや石立のカットインなどで6連取したオムロンが10-3と先行、GK藤間の連続セーブも光った。13-7とオムロンリードで迎えた後半、ソニーは石井の連続得点や高橋の巧打などで3分10-13と差を縮めたが、オムロンも藤井の7mスローなどで優位をキープし、24-20で首位を守った。この試合でオムロン・藤井が通算500得点を達成した。

富山での北國銀行-三重バイオレットアイリスは、三重がGK毛利のナイスセーブや小糸の速攻などで前半9分6-4と先行。しかし、2分後に同点に追いついた北國は、スピーディな速攻に上町のロングシュートをからめてペースに乗り、18-11で前半を折り返した。後半、八十島の3連続速攻で好スタートを切った北國に対し、三重も早船の奮戦で懸命に反撃するが、北國は上町、石野を中心に速攻で点差を広げ、33-17で勝利した。



①首位の大崎電気を牽引した東長濱
⑤通算500得点を達成したオムロン・藤井

第19週の日程

2月23日(土)	愛知	中村スポーツセンター(地下鉄東山線中村日赤駅徒歩5分)	13:00~	(女)	H	C	名	古	屋	×	ソニーセミコンダクタ						
		豊田合成(株)健康管理センター(JR東海道本線稻沢駅徒歩15分)	15:00~	(男)	大	同	特	殊	鋼	×	北	陸	電	力			
	広島	東区スポーツセンター(アストラムライン牛田駅徒歩2分)	14:00~	(男)	豊	田	合	成	×	ト	ヨ	タ	紡	織	九	州	
	熊本	人吉スポーツパレス(JR肥薩線人吉駅から車5分)	14:00~	(女)	オ	ム	口	ン	×	三	重	バイ	オレ	ッ	ト	ア	イリ
2月24日(日)	石川	小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)	13:00~	(女)	北	國	銀	行	×	広	島	メイ	プ	ル	レ	ッ	ズ
	愛知	知立市福祉体育館(名鉄名古屋本線知立駅徒歩10分)	13:00~	(男)	ト	ヨ	タ	車	体	×	大	崎	電	気			

合成、広島が手堅く勝利



広島メイプルレッズ・増田

16日福井での北陸電力・豊田合成は、前半23分、岡山の7mスローで先行した合成が、その後も長江らで加点して12-8と4点リードで前半を終えた。後半も合成が中島の3連続得点などで優位をキープ、切越、杉山らで追撃する北電を突き放し24-21で勝利を握った。

同日広島での女子・広島メイプルレッズ・HC名古屋は、広島がスタートから快調に飛ばし15-4と大量リードを奪って前半終了。広島は後半13分までに24-8と点差を広げ、中盤以降はメンバーを入れ替える余裕を見せ34-14と圧勝した。

レギュラーシーズン最終の次週は大崎電気-トヨタ車体の男子首位決戦、プレーオフ前哨戦となる女子・北國銀行-広島戦に注目。大同特殊鋼は北陸電力に勝てばプレーオフ進出が決まる。

◆ 2月16日(土) 男子
福井・北陸電力福井体育馆フレア

豊田合成	24 (12-8)	21	北陸電力
3勝3分9敗	12-13	21	2勝0分13敗
<3/4> K 藤 戸	1/ 3	神 田	1/ 3
0/ 0 柳 原	5/ 7	切 越	5/ 7
2/ 3 野 田	1/ 5 1/1	桜 井	1/ 5 1/1
0/ 0 黒 木	0/ 0	前 田	0/ 0
0/ 0 大 橋	8/ 8 0/2	杉 山	8/ 8 0/2
3/ 7 桶 谷	1/ 3	落 合	1/ 3
6/13 中 島	小 川	小 川	0/ 1
1/ 6 長 江	廣 嶺	廣 嶺	<0/2>
0/ 1 加 藤	山 原	山 原	0/ 2
K 藤 戸	戸 戸	戸 戸	0/ 0
7/14 今 村	瀬 宮	瀬 宮	0/ 0
3/ 3 中 村	添 K	添 K	
0/ 0 芳 伸	赤 瑞	赤 瑞	4/ 7 0/1
K 藤 堂	佐 々 木	佐 々 木	0/ 0
1/1 0/ 0 岡 山	有 江 K	有 江 K	
1/1 0/ 0 館 盛	櫛 田 0/ 0	櫛 田 0/ 0	

2/2 22/47 3(FPP)5 20/36 1/4

シュー	ト 阻止率
0.000	0/ 0 藤 戸
0.125	1/ 8 藤 田
0.409	9/22 藤 堂

0.333 10/30 (GK) 21/43 0.488
審判 (寺内・細川) 観客 405人

◆ 2月17日(日) 女子
富山・富山市総合体育馆

北國銀行	33 (18-11)	17	三重バイオレットアイリス
10勝1分3敗	15-6	17	3勝0分11敗

<0/1> K 堂 面	近 藤 K <1/1>	山 野 0/ 0	浅 井 K <0/4>
4/10 増 田 面	池 田 0/ 1	山 田 菜 0/ 0	横 沢 川 0/ 0
2/ 3 高 橋 伊	藤 1/ 3	高 橋 4/ 7	内 竹 0/ 0
1/ 2 河 田 福	井 2/ 11	稻 葉 4/ 4	大 田 4/ 4
3/ 6 大 前 高	橋 2/ 5	藤 井 0/ 0	阿 久 田 1/ 6 1/1
1/2 10/15 宋 海 林 鈴	木 3/ 13 1/1	石 立 0/ 0	富 石 坂 3/ 5
1/ 1 塩 田 見 細	田 0/ 0	吉 田 薫 古 0/ 0	小 横 嶋 飯 田 1/ 3
6/ 8 早 川 阪 本	0/ 1	0/ 0 相 澤 川 崎 0/ 0	2 後 石 川 0/ 2
0/ 0 安 齋 藤 田	0/ 0	永 田 黒 木 1/ 1	田 代 毛 利 K <1/4>
0/ 0 塩 田 上	野 0/ 0	0/ 0 前 田 飛 田 0/ 0	2 横 嶋 彩 黒 川 2/ 2
4/ 7 高 山 家 城	K 0/ 1	0/ 0 吉 田 起 石 井 4/ 6	1 沢 井 伊 藤 0/ 0
<0/1> K 田 口 横 井	内 0/ 1	0/ 0 東 濱 鎌 倉 0/ 0	2 橋 本 小 稲 2/ 5
2/ 2 新 城 田 邊	2/ 6 1/1	2/ 5 松 本 錦 織 2/ 3	4 八 十 島 村 尾 0/ 2
0/ 2 加 藤 戸 塚 純	K <0/1>	0/ 0 小 館 藤 井 2/ 8 3/3	2/ 3 若 松 万 谷 0/ 6
0/ 0 木 村 金 塚	金 <0/1>	3/ 4 金 且 妍 内 富 0/ 1	1/ 2 小 松 早 船 3/ 7

1/2 33/56 7(FPP)5 12/45 2/2

0.739 17/23 堂 面	近 藤 5/28 0.179	飛 田 7/24 0.292	0.538 7/13 寺 田
0.538 7/13 田 口	家 城 0/ 4 0.000	中 山 0/ 3 0.000	浅 井 11/29 0.379

0.565 13/23 田 代 本
0.000 0/ 0 橋 本

0.556 20/36 (GK) 18/44 0.409
審判 (大石・桜打) 観客 612人

◆ 2月17日(日) 男子
奈良・生駒市市民体育馆

大崎電気	39 (23-14)	28	トヨタ自動車
15勝0分0敗	16-14	1勝0分14敗	東日本

K 浦 和	永 濱 K <0/2>	中 田 松 野 K	琉 球
4/ 6 小 澤 口	8/14	4/ 8	コラソン 27 (14-9)
3/ 5 豊 田 郷 古	0/ 0	棚 原 0/ 1	24 (13-15) 24
2/ 5 宮 崎 遠 山	1/ 1	野 村 3/ 5	トヨタ紡織
3/3 7/ 9 東 長 滝 芳 藤	0/ 1	浦 田 0/ 0	9勝1分5敗
0/ 3 永 島 吉 田	3/ 6	浦 田 3/ 5	
1/ 1 小 室 佐 藤 謙	2/ 5	地 久 保 龍 2/ 2	
3/ 3 馬 場 関 口 K <0/1>	K 東 桑 名	1/ 5	
K 東 桑 名	4/ 4 佐 藤 文	1/ 1 平 子	
4/ 4 岩 永 崎 前 0/ 3	4/ 6	久 保 龍 球 0/ 0	
2/ 4 猪 妻 上 野	8/12	加 藤 球 0/ 1	
1/ 3 石 川 時		2/ 2 千 々 波 下 野 K <0/1>	
2/ 3 時 村 関 口		5/ 5 山 城 藤 本 0/ 0	
4/ 5 信 太 0/ 0		東 鈴 木 4/ 6	
2/ 5 植 垣 3/ 6 高 景 洋		0/ 0 下 村 藤 0/ 0	
		4/ 6 高 景 洋 石 4/ 6	

3/3 36/61 5(FPP)4 28/52 0/0

0.308 8/26 浦 和	永 濱 2/ 8 0.250	中 松 野 9/37 0.243	0.000 0/ 0 内 田
0.333 5/15 東 関	口 12/42 0.286	下 野 0/ 0 0.000	伊 藤 6/12 0.500

0.364 12/33 石 田

0.317 13/41 (GK) 14/50 0.280
審判 (寺内・細川) 観客 1123人

0.364 12/33 (GK) 14/40 0.350
審判 (臼井・河合) 観客 2285人

男女個人ランキング 第18週終了現在

《男子》

《女子》

得点王

1 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	105点	(16試合)	1 宋 海 林 (メイ プルレッズ)	102点	(14試合)
2 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	94点	(15試合)	2 藤井 紫緒 (オムロ)	92点	(14試合)
3 村山 裕次 (琉球コラソン)	90点	(16試合)	3 上町 史織 (北國銀行)	85点	(14試合)
4 東長濱 秀希 (大崎電気)	84点	(15試合)	4 高山 智恵 (メイ プルレッズ)	83点	(14試合)
5 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	76点	(15試合)	5 八十島 智美 (北國銀行)	60点	(14試合)
6 中島 晋太郎 (豊田合成)	76点	(15試合)	6 横嶋 かおる (北國銀行)	57点	(14試合)
7 渡部 仁 (トヨタ車体)	75点	(15試合)	6 早川 志歩 (メイ プルレッズ)	57点	(14試合)
8 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	74点	(15試合)	6 東濱 裕子 (オムロ)	57点	(14試合)
9 赤塚 孝治 (北陸電力)	74点	(15試合)	9 新城 明奈 (メイ プルレッズ)	56点	(14試合)
10 富田 恒介 (トヨタ車体)	64点	(15試合)	10 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	53点	(14試合)
10 杉山 卓也 (北陸電力)	64点	(15試合)	11 錦織 新 (ソニーセミコンダクタ)	49点	(14試合)

フィールド得点

1 村山 裕次 (琉球コラソン)	90点	(16試合)	1 高山 智恵 (メイ プルレッズ)	81点	(14試合)
2 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	88点	(15試合)	2 宋 海 林 (メイ プルレッズ)	73点	(14試合)
3 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	86点	(16試合)	3 八十島 智美 (北國銀行)	60点	(14試合)
4 中島 晋太郎 (豊田合成)	76点	(15試合)	4 藤井 紫緒 (オムロ)	59点	(14試合)
5 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	75点	(15試合)	5 横嶋 かおる (北國銀行)	57点	(14試合)
6 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	74点	(15試合)	5 東濱 裕子 (オムロ)	57点	(14試合)
7 富田 恒介 (トヨタ車体)	64点	(15試合)	7 早川 志歩 (メイ プルレッズ)	56点	(14試合)
8 切越 巧也 (北陸電力)	63点	(15試合)	8 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	52点	(14試合)
8 今村 彰伸 (豊田合成)	63点	(15試合)	9 新城 明奈 (メイ プルレッズ)	51点	(14試合)
10 豊田 賢治 (大崎電気)	62点	(15試合)	10 錦織 新 (ソニーセミコンダクタ)	48点	(14試合)
			10 上町 史織 (北國銀行)	48点	(14試合)

シート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 富田 恒介 (トヨタ車体)	64点/ 89射 0.719	1 横嶋 かおる (北國銀行)	57点/ 67射 0.851
2 豊田 賢治 (大崎電気)	62点/ 90射 0.689	2 八十島 智美 (北國銀行)	60点/ 85射 0.706
3 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	75点/ 118射 0.636	3 高山 智恵 (メイ プルレッズ)	81点/ 117射 0.692
4 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	74点/ 130射 0.569	4 早川 志歩 (メイ プルレッズ)	56点/ 83射 0.675
5 村山 裕次 (琉球コラソン)	90点/ 172射 0.523	5 新城 明奈 (メイ プルレッズ)	51点/ 77射 0.662
6 中島 晋太郎 (豊田合成)	76点/ 146射 0.521	6 錦織 新 (ソニーセミコンダクタ)	48点/ 75射 0.640
7 切越 巧也 (北陸電力)	63点/ 125射 0.504	7 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	52点/ 86射 0.605
8 今村 彰伸 (豊田合成)	63点/ 140射 0.450	8 藤井 紫緒 (オムロ)	59点/ 110射 0.536
9 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	86点/ 194射 0.443	9 宋 海 林 (メイ プルレッズ)	73点/ 142射 0.514
10 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	88点/ 202射 0.436	10 東濱 裕子 (オムロ)	57点/ 116射 0.491
		11 上町 史織 (北國銀行)	48点/ 104射 0.462

7mスロー得点

1 東長濱 秀希 (大崎電気)	23点	(15試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	37点	(14試合)
2 野村 喜亮 (大同特殊鋼)	22点	(15試合)	2 藤井 紫緒 (オムロ)	33点	(14試合)
3 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	19点	(16試合)	3 宋 海 林 (メイ プルレッズ)	29点	(14試合)
4 渡部 仁 (トヨタ車体)	16点	(15試合)	4 藤井 保奈美 (ソニーセミコンダクタ)	19点	(14試合)
5 横口 瞳 (湧永製薬)	15点	(12試合)	5 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	15点	(11試合)
5 崎前 健治 (トヨタ自動車東日本)	15点	(15試合)	6 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	13点	(14試合)
7 赤塚 孝治 (北陸電力)	13点	(15試合)	7 増田 寛那 (メイ プルレッズ)	10点	(14試合)
8 東江 太輝 (湧永製薬)	12点	(15試合)	8 阿久田 実咲 (バイオレットアイリス)	8点	(14試合)
9 柳 匠郎 (トヨタ紡織九州)	11点	(15試合)	9 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	6点	(14試合)
9 野田 祐希 (豊田合成)	11点	(15試合)	10 新城 明奈 (メイ プルレッズ)	5点	(14試合)

シート阻止率 (フィールドシートを受けた数が、男子9位・女子6位以内のGKが対象)

1 甲斐 昭人 (トヨタ車体)	152本/ 342射 0.444	1 藤間 かおり (オムロ)	197本/ 401射 0.491
2 浦和 克行 (大崎電気)	188本/ 444射 0.423	2 田代 ひろみ (北國銀行)	173本/ 373射 0.464
3 久保 侑生 (大同特殊鋼)	135本/ 366射 0.369	3 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	152本/ 397射 0.383
4 志水 孝行 (湧永製薬)	129本/ 362射 0.356	4 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	104本/ 273射 0.381
5 藤堂 聖二 (豊田合成)	133本/ 376射 0.354	5 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	93本/ 265射 0.351
6 石田 孝一 (琉球コラソン)	188本/ 548射 0.343	6 近藤 澄江 (H C 名古屋)	116本/ 388射 0.299
7 有江 啓 (北陸電力)	104本/ 319射 0.326		
8 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	193本/ 666射 0.290		
9 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	110本/ 386射 0.285		

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 志水 孝行 (湧永製薬)	9本/ 21射 0.429	1 南 裕子 (ソニーセミコンダクタ)	9本/ 22射 0.409
2 石田 孝一 (琉球コラソン)	8本/ 20射 0.400	2 堂面 妙子 (メイ プルレッズ)	9本/ 23射 0.391
3 廣瀬 駿優 (北陸電力)	7本/ 24射 0.292	3 田口 舞 (メイ プルレッズ)	5本/ 14射 0.357
4 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	8本/ 28射 0.286	4 藤間 かおり (オムロ)	12本/ 35射 0.343
5 吉田 耕平 (大崎電気)	4本/ 15射 0.267	5 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	8本/ 24射 0.333
6 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	4本/ 17射 0.235	6 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	11本/ 37射 0.297
7 木下 国大 (トヨタ車体)	3本/ 15射 0.200	7 寺田 三友紀 (北國銀行)	7本/ 24射 0.292
8 藤堂 聖二 (豊田合成)	3本/ 17射 0.176	8 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	9本/ 45射 0.200
9 内田 武志 (琉球コラソン)	4本/ 28射 0.143	8 近藤 澄江 (H C 名古屋)	3本/ 15射 0.200

第37回日本ハンドボールリーグ成績表

第18週第2日終了 2月17日

順位	女子	オムロン	広島メイフルレッズ	北國銀行	ソニーセミコンタクタ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		30 26 25 ○ △ ● 18 26 26	22 22 22 ○ ○ △ 18 16 22	19 24 24 ○ ○ ○ 15 21 20	33 32 30 ○ ○ ○ 16 14 10	33 32 30 ○ ○ ○ 16 14 10	14	11	2	1	24	374	250	124
2	広島メイフルレッズ		18 26 26 ● △ ○ 30 26 25	24 28 ● ○ 32 26	30 27 27 ○ ○ ○ 26 22 19	38 32 37 ○ ○ ○ 17 17 18	29 27 34 ○ ○ ○ 14 18 14	14	11	1	2	23	403	304	99
3	北國銀行		18 16 22 ● ● △ 22 22 22	32 26 ○ ● 24 28	26 23 27 ○ ○ ○ 25 17 16	36 33 33 ○ ○ ○ 7 16 17	33 29 28 ○ ○ ○ 9 11 16	14	10	1	3	21	382	252	130
4	ソニーセミコンタクタ		15 21 20 ● ● ● 19 24 24	26 22 19 ● ● ● 30 27 27	25 17 16 ● ● ● 26 23 27	25 23 31 ○ ○ ○ 16 20 13	29 24 ○ ○ 17 10	14	5	0	9	10	313	303	10
5	三重バイオレットアイリス		16 12 ● ● 33 32	17 17 18 ● ● ● 38 32 37	7 16 17 ● ● ● 36 33 33	16 20 13 ● ● ● 25 23 31	23 20 21 ○ ○ ○ 16 14 20	14	3	0	11	6	233	403	-170
6	HC名古屋		16 14 10 ● ● ● 33 32 30	14 18 14 ● ● ● 29 27 34	9 11 16 ● ● ● 33 29 28	17 10 ● ● 29 24	16 14 20 ● ● ● 23 20 21	14	0	0	14	0	199	392	-193

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。